

## 子育て応援事業 「にこにこ笑顔がいっぱい」「にこたむ fes.」

10月23日、子育て応援事業「にこたむ fes.」が市総合体育館で開かれました。会場では、よしお兄さん親子体操やてい先生との子育て座談会、HIMAWARIちゃんねる特別ステージなどが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。また、にこたむマルシェでは、市特産の野菜などをふんだんに使ったサツマイモのニョッキ×ミートソースが来場者に無料で配られ、秋の味覚を親子で楽しみました。「にこたむ fes.」は、子育て世代のお父さんやお母さんが、安心して子育てができる環境づくりの推進を図ることを目的に開催しています。



## 百歳賀寿 末永くお元気で

### ●大澤 タマ子さん

船引町笹山の太田タマ子さんが、9月27日に満百歳を迎えられました。25歳の時にお寺の住職である夫のもとに嫁ぎ、夫とともにお寺を守られてきました。タマ子さんは裁縫が得意で、お寺には針仕事を学ぼうとする近所の方々がたくさん訪れていたそうです。長寿の秘訣は「3度の食事、野菜中心、暴食しないこと」だそうです。

福島県、田村市、田村市社会福祉協議会から賀寿や祝い金などが送られました。



## 共進会 5年に1度の和牛の祭典 市内から5頭が出場

10月6～10日、第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県の霧島市などで開かれ、田村市からは県内の予選を勝ち抜いた5頭が出場しました。全国和牛能力共進会は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会で、5年に1度開催されているため「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

### ●出場した結果は次のとおりです。(敬称略)

- ・去勢肥育牛・優等賞 坪井徳幸(大越)
- ・総合評価群:1等賞 鈴木新一(船引)・浦山公利(常葉)・吉田辰男(船引)・JA和牛ファーム福島さくら(常葉)



総合評価群で1等賞を受賞した4頭

## 稼働式 4年産 米の全量全袋検査を開始

9月22日、4年産米の収穫期に合わせて米調べるセンターが稼働しました。

原発事故で避難指示があった市町村のうち10市町村では、今年度も米の全量全袋検査が義務付けられています。

消費者へ安全安心な米を届けるため、市内3カ所(船引・常葉・大越)の米調べるセンターで検査を行います。

なお、市内では平成27年産米以降、基準値を超過する米が検出されていないため、5年産米から抽出によるモニタリング検査に移行します。



## 子ども部会 子どもたちが安心して暮らせる地域を目指して

9月21日、第45回田村市障害者地域総合支援協議会子ども部会が市役所で開かれました。なごみケア訪問看護ステーション(三春町)の菅原宏大氏を講師にお招きし、近年増加傾向にある、医療的ケア児に対する理解や支援のあり方などを学びました。

子ども部会は、保護者・保育所・幼稚園・小中学校教員・障害児福祉サービス事業所・保健師などで構成され、地域の課題解決に向け協議する場として年5回開催されます。



## 手話教室 手話を身近に 船引南小児童が手話に親しむ

9月28日、手話教室が船引南小学校で開かれ、4年生12人の児童が参加しました。

講師に熊谷孝子さんと佐久間真樹さんをお招きし、熊谷さんから耳が聞こえなくなった経緯や日常生活での大変さなどの話を聞きました。また、手話による簡単なあいさつや校歌などを学び、聴覚障害の理解を深めました。

この手話教室は、障害者の理解を図ることを目的に、学校や事業所などに訪問して開催しています。



## PR販売会 県内で田村市うまいもの販売会、秋の魅力をPR

9月11日、郡山市のJA農産物直売施設「めぐりあ」、10月8・9日に、いわき市の鹿島ショッピングセンター「エブリア」で田村市産品の販売会を行いました。

市内の事業者が集まり、新鮮な秋野菜をはじめ、ハムやプリンなどおいしい特産品を展示販売しました。

市産品を買い求めて、行列ができるブースもあり、参加した事業者は、季節ごとの魅力を伝えながら市産品のPRを行っていました。



## 新そばまつり おいしい新そばに舌鼓

10月2日、田村市新そばまつりがあぶくま洞で開かれ、新そばを味わおうと訪れた家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。

来場者は、そば打ち名人たちが心を込めて打ち上げた風味豊かな十割そばをおいしそうに味わっていました。

また、出店ブースにも市内の特産品を使ったグルメなどが数多く並び、田村の秋を満喫できる1日となりました。

